

## 保護者懇談会 会議録

1 会議の名称	富津市小・中学校再配置計画（案）に係る地区 保護者懇談会（金谷地区）
2 開催日時	平成29年5月17日（水） 午後7時～午後8時30分
3 開催場所	金谷コミュニティセンター
4 説明事項等	・富津市小・中学校再配置計画（案）に関する Q & A（追加）説明 ・質疑
5 出席者名	岡根教育長、能城教育部長、高梨教育部参事、 河野学校教育課主幹、鈴木学校再配置推進室 長、鶴岡教育総務課長、竹谷教育センター所長、 鳩飼教育センター主幹、當眞副主幹、笠原施設 係長、渡邊副主査
6 参加人数	保護者14名、市民1名、市議会議員5名
7 所管課	教育部学校教育課学校再配置推進室 電話 80-1155（内2155）
8 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

金谷地区保護者懇談会会議録

発言者	発言内容
	進行：鳩飼教育センター主幹
能城部長	1 開会の言葉
	2 参加職員紹介
岡根教育長	3 教育長あいさつ
當眞副主幹	4 富津市小・中学校再配置計画（案）に関するQ&A（追加）説明
	5 質疑
保護者 A	<p>子どもの遊ぶ時間のことなのですが、子どもは放課後遊ぶことによってリフレッシュをしていると思います。私の家に遊びに来る友達も年齢がバラバラです。その中で喧嘩もしますが、年上の子が中に入ったりして自分達だけで解決しています。そうやって色々なことを学校でだけではなく、子ども達同士、自分達で何とかすることを学んでいます。</p> <p>子どもの勉強も8時間一緒にいることも大事だと思いますが、子どもに放課後遊ぶ時間を与えたいと思っています。友達と遊ぶ中での子どもの心のリフレッシュについてどう考えていますか。私は毎日気持ちよく学校に行かせてあげたいと思っています。</p>
鈴木室長	<p>通学の時間で遊ぶ時間が無くなってしまふことや習い事に行くのに間に合うかぎりぎりになってしまうということは聞いています。また、上級生が下級生の面倒をみるような関係は優しい子が育っていくと思います。ただ、同時に同級生と過ごす時間、同級生の子達から学ぶ機会を持つことも重要だ</p>

保護者 B	<p>と考えています。土日は上級生の子達と遊ぶことは可能だと思しますので、そういったことは継続してつながっていくことだと思しますので、同時に同級生との横のつながりというのも様々な経験をしていく中で積んでいけると思っています。そういった点を通学時間で時間を取られてしまうことはわかりますが、理解していただきたいと思ひます。</p> <p>今の金谷小の子達は各学年の子と仲良く遊んでいます。それが、30人クラスになって同学年の子と遊んでいたら、土日だけ地元で上級生と遊ぶかといったら遊ばないと思ひます。他の小学校で他の学年の子と遊んでいる子はいないかなと思ひます。そうすると土日は外で遊ばなくなって、家でゲームをするような子が増えると心配しています。</p>
鈴木室長	<p>あと統合なのか吸収なのかとQ &amp; Aにありますか、違いはなんですか。</p> <p>統合というのは同じ立場でということ。吸収は元々あった学校に吸収されるということ。</p>
保護者 B	<p>中学は湊に行くので、普通に考えたら隣の竹岡小にとか端の金谷小にということになってもいいと思うんですけど。切磋琢磨する機会を増やすとありますが、小規模校では出来ないのでしょうか。</p>
鈴木室長	<p>小規模校でも切磋琢磨する機会は十分あると思ひています。ライバルが増えたり、足の速さや成績でも自分と近い子がいることが、人数が多いと出てくると思ひます。そういったことで切磋琢磨する機会が増えてくるのではないかと考えています。</p>
保護者 B	<p>今日の陸上競技会に行きましたが、5年生の部で4年生を入れて金谷は出場したが青堀に次ぐ2位でした。初めから負けてもいいと思ひている子達は金谷にいないと思ひるので、頑張って青堀に勝とうと思ひて練習していました。小さい学校</p>

鈴木室長	<p>は全員で頑張っています。青堀小は切磋琢磨している子は沢山いると思いますけど、陸上とかは自分には関係ないとあきらめている子もいると思います。その点、金谷小の子は全員で参加してそれなりの成績を上げていると思います。小さい学校だから可能性が低いとか、出来ないことが多いとか、子ども達の競争心が育たないとかということはないんじゃないかなと思います。</p> <p>小規模校は学力が低いとかスポーツが出来ないとかは言っておりません。例えばドッジボールとかやる時に少ない人数だとキャッチボールのような形になってしましますが、同年代の子達と思いきりボールが投げられるような環境を与えてあげたいと考えております。また、同学年の子で同じように育ってきた子がいる環境で、色々な性格、考え方、趣味を持った子がいることによって選択肢の幅を広げてあげたりすることで、自分と気持ちの合う子がみつかったりするのかなと思います。生活や勉強で色々なチャンスを与えてあげたいなと考えています。</p>
保護者 C	<p>統合の問題でスクールカウンセラーのことが書いてありますが、これは常駐するのでしょうか。</p>
鈴木室長	<p>週1ということになります。</p>
保護者 C	<p>そういう人が上手く活用できればいいとは思いますが。</p> <p>小規模校に関して、国が進めていることはわかりますが、先ほど上級生から学ぶことがあると言っているように、富津市として小規模校をあえて存続させて、そのメリットを活かして子ども達を育てていくということは出来ないか。前回のPTAとの話し合いの中で統合をしたとしても学校の維持費は減るがスクールバスの経費などで結局トントン位になると言っていたので、トントンであるならば小規模校を維持して、心豊かな子ども達を育てていくことが天羽地区にとってプラスになることではないかと思います。人数が少なくなる中で</p>

<p>保護者 B</p>	<p>子ども達を切ったり貼ったりということは、10、20年度にまた出てくると思いますので、富津市としてこういう子を育成していくというような発想転換をしても良いのではないかと思います。</p> <p>3年後に天羽東中が天羽中に来ても人数規模は変わらず、その後天羽中も一学級しか出来ない学校になると聞いていますが、この前では天羽中を残すと言っていたが、もっと子どもが少なくなったときに大貫と統合せざるを得ないと思うのですけどどうなのでしょう。</p>
<p>鈴木室長</p>	<p>富津市は面積が広く、特に天羽は面積の7割を占めています。その中で天羽東を統合した後は、広さの面からも富津、大佐和、天羽の地区の中学校は残さざるを得ないのではないかと考えています。20、30年後に人数が減っていくことは予想されていますが、これ以上統合をすると子ども達に負担をかけることになると思うので、基本的には3校は維持していきたいと考えています。</p>
<p>保護者 B</p>	<p>天羽中で一学級となってしまうのは時間の問題だと思います。今、富津市で富津、大佐和、天羽に公民館や老人憩いの家があったりして、統合できるのにそれぞれ一つずつあって、それをまた中学校でもやるのかなと思います。小学校は地元にあって、歩いて行けないと小さい子は心配だと思います。ただ中学生は、みんな湊まで通っているので、通学距離が長くてもあんまり影響はないと思いますし、湊までいくのと佐貫や大貫までいくのはそんなに変わらないと思います。ただ、小学生が金谷に行くのと湊に行くのでは大きな違いで、通学に長くバスの中で過ごすことは子どもにとってムダだと思います。</p>
<p>岡根教育長</p>	<p>子どものリフレッシュについてですが、親御さんの目から見ていてそれが出来ているというのは素晴らしいなと思います。また今の子ども達は忙しい時代になってきていて遊ぶ時</p>

間とかみんなと群れる時間や自分の時間というのは習い事に行くなどの中で少なくなっていると思います。ただ金谷はそういう状況にあって安定した子ども達の状況がわかります。ただ私どもとすれば、同じ学年の子と意見交換をしたり体験したりすることが必要だろうということからこういう提案をされていて、金谷小学校については、その学年の集団が極めて小さくなりすぎていると判断しています。仮に10人とか15人とか学級にいれば、仲間同士で遊ぶ時間が出てくるだろうし、また違った取り組みにもなるだろうなと思います。恐らく最初の内はとまどいだったり、疲れたりすることもあるだろうと思います。それは体験や交流を通してならしていく必要はあるかなと思います。ただ今言われたように低学年の子が通学の時間が長いとか辛いとかということがあれば、子ども達の交流や生活のリズムをチェックして考えていかなければいけないかなと思います。

先ほど少人数規模の学校のお話がでましたが、少人数の学級で維持出来れば良いと思いますが、複式学級になってしまうと担任の配置が無くなってくるわけです。そういう状況になると教育環境的に教頭や教務主任が授業やったりと配慮しています。なので、複式になると人材的には配置的に少なくなってしまうのは実態です。そういう点では複式のデメリットは人事配置にあります。そういうことから複式を無くしていくという形も一つの考え方としてあるのかなと思います。今の金谷は複式の中でも先生達の工夫の中で何とか複式を解消できるような取り組みをやっているということです。

今回我々が話しているのは、3、4人の学級の6年間の中で学ぶことや身につけることもあるだろうけど、そうではない集団の中へこの子達を行かせることにより得られることは多々あるのではないかとということで複式学級を解消することを目的として、この再配置計画（案）をお出ししています。

その中で今お話がでている子どもの遊ぶ時間だとか、時間の確保や低学年の子どもに対する配慮だとかについて、皆さんの意見を伺いながら対応できるような状況が時間的に難しいのではないかとはいえ変更材料としてなくはないかと思うのですが、要は同学年のある程度の規模の子ども達との学習する環境を作ってあげたいというのが、私の考えです。

それから縦割りが出来なくなってしまうということですが、環境が変わってクラスの仲間が出来れば仰るとおり、そういう仲間関係になると思います。ただ、全学校で縦割り活動というものをやっていて、そういうものを通して下級生に対するいたわりだとか、上級生に対する尊敬だとかは生まれてくると思います。どこの学校に行っても小学校1年生は小学校6年生が卒業するときに感謝していますよ。縦割りというのはありますけど、この地区の中で、バスの中でどんな縦割り活動ができるかはともかく、学校の中では意図的に作っています。でも、一番重要なことは同学年の中での過ごす時間の中で育つことについて、皆さんにどうでしょうかということでお話しさせていただいています。どうしても通うことは難しいのではないかとということであればまた考えざるを得ないかなと思います。

また、子どもの精神発達上、心のリフレッシュが必要なのですという話についてはそうなのかと思いますが、同じ学年の子と学ぶことについて重要なことがあるのではないかと思っており、意見交換をしたいと思います。

市民 A

私は4年半前に引っ越してきて、こちらで不動産業をしております。今話を聞いていると人が減っていくことばかりに話がいっていると思うのですが、今金谷の町については若い人がどんどん増えてきています。彼らもこの町で子どもを産んで、子育てしたいという希望を持ってきている人が大勢いるのです。その中で小学校が廃校になるということは致命

	<p>傷だと思っています。一度廃校してしまったらそれを元に戻すには非常に難しいと思っています。せっかく金谷小という立派な小学校があって、金谷という町が気に入って、集い始めている若者は小学校が廃校になることなど全然考えていません。もし廃校になるとわかったら彼らはまたこの町から出て行きます。不動産業者として必ず聞かれることは、小学校は近くにありますか、学校環境はどうですかと聞かれます。それは若者が引っ越ししてくる大前提なんですね。ですから是非、減ることだけを考えないで増えるということも前提に考えていただきたいと思います。</p>
保護者 C	<p>若者達はどこから来ているのでしょうか</p>
市民 A	<p>東京からです。</p>
保護者 C	<p>ここで子どもを育ててという気持ちで来ているのですか。</p>
市民 A	<p>大半がそうで、様子を見に来ている人もいます。その様子を見に来ている人にとって小学校がなくなるということは致命傷になります。国の施策の中で地方に人口移住を促進するということもあるんですから、人口減だけを前提だけを考えると廃校を考えるというのは移住してきた私からすると問題があると思います。</p>
高梨参事	<p>人口を増やすことは市として取り組んでいることです。ただ私どもが今説明させてもらっていることは、今いる子ども達にとってどんな教育環境がいいのかなということを考えて、今のこの計画を出しているところです。今皆さんが仰っていることは、当てはまることは多いと思いますが、今6年生12人が卒業してしまう金谷小、この先の3年、5年後の金谷小をイメージしていただくと、今の子ども達にとってどんな教育環境がいいかということを考えており、環境という問題で考えていただけたらと思います。その中で我々の至らない点もあると思います。</p> <p>先ほどから小規模校でという話もあったり色々な考え方も</p>



<p>市民 A</p>	<p>あると思いますが、今の子ども達ということで話し合いをしていただけたらと思います。</p> <p>金谷小は心の教育をするのに適していると思います。何もマスコミ教育がいいとは思いませんし、多人数の教育が必ずしもいいとは思いません。少ない学校で自然の中で、町の人達と交流を深めて、仲間と心豊かな学校生活を送る方がよっぽどいいと思います。切磋琢磨するのは小学生からである必要はありません。中学高校やその上からでも十分に間に合うことだと思います。</p>
<p>高梨参事</p>	<p>大規模校といいます、天羽地区 4 校が一緒になっても 30 数人です。どの位の同級生がいて、どんなことが同級生でできることが子ども達にとっていいのかなという学校の像というか、それを考えていただきたいです。我々の考えは、青堀小のような 100 人以上の学校にするわけではありませので、どの位の同級生がいて、みんなで何ができるかを考えると男子 10 人ちょっと、女子が 10 人ちょっと位の同級生がいることが環境としてよいのではないかと考えています。同級生に女子がいないだとか、いても 1、2 人の環境が子ども達にとってどうなのだろうかということをお考えいただいて、学校が一緒になることは色々な問題が出てきて、考えていけないといけないことも沢山ありますし、皆さんと考えていけないといけないこともありますが、その点を考えていただければと思います。</p>
<p>保護者 B</p>	<p>今の子ども達ということはわかりますが、学校の廃校というのは町にとって非常に大きな問題なので、たまたまその時にいた P T A の保護者の多数決で決めてよい問題かというのはちょっと違うと思っています。</p>
<p>岡根教育長</p>	<p>近くに学校があることは便利でいいと思いますが、バスで何分といのは致命的な要因なのかどうか、ある程度通える範囲であると我々は考えていて、こういう提案をしています。</p>

	<p>それが遠く住むには不適合だということで若者が拒否してしまうのであれば、まちづくりの観点から考えざるを得ないと思うのですが、今住んでいる人達が出て行くというのは、閑豊の時は学校が無くなるからといって、出て行った人は事実的にはいなかったと思います。</p> <p>ただ、そこに学校があるから入ってくるとか入らないとかはチェックしていないので、不動産の観点から学校通うのに30分バスに乗るといのは近くに学校はないとそういう判断なのですか。</p>
市民 A	<p>それは致命傷です。物件を案内するときに必ず学校は聞かれますが、物件案内でも必ず小学校等が何分などと書くようになっていきます。その中で若い人が住み着くのに小学校というのは非常に重要な要素です。</p>
岡根教育長	<p>我々の持っているデータは今いる人のデータしかありません。これからどれだけ来るといのはわからないのですが、どれくらい的人数がこれから入り込んでくるというのはイメージでいいのでどれくらいなのでしょう。</p>
市民 A	<p>具体的に何人とは申し上げられませんが、若者が増えてきているということは他の町からこの場所に宿泊していただければ実感すると思います。</p> <p>役所の方でも転入のデータはあると思いますので、確認できると思いますが。また、そういうことについて具体的に話したいと思います。</p>
岡根教育長	<p>今は全国的に少子化でここだけの問題ではありませんが、富津市の中でも金谷が一番小さい学校というのは事実です。これからの見通しの中で考えても20人台に突入してしまう。その中で同学年の関わりとかを話しているのですが、切磋琢磨は小学生のうちからいらないといっておりましたが、何も競争を煽っているわけではなくて、互いの良さを見つけたり、同じ学年の中での意見交換ができるたくさんできる仲間がい</p>

<p>保護者 B</p>	<p>ることが、発達段階のうえで必要だということで提案をしています。そこができる規模になれば、見通しみたいのがあれば、バスで通う時間も含めて、様々な面で検討しなくてはいけない部分があるのかなと思います。</p> <p>現在では来年の入学生は0人なんです。確かにまちづくりの人達も一生懸命やってくれていますが、現状で考えると厳しい状況であるので、できるだけ良い環境でどうでしょうかということをご理解していただきたいということです。</p> <p>教育再生首長会議の会長の山口県防府市長は人が少なくなったから統合するというのは安直すぎる、1人でも子どもがいれば小学校は残すのだと、そこを核にして地域の発展につなげていくのだとある雑誌で言っていました。学問的な問題は高校からで、集団行動、集団規律は中学からでも間に合うと思います。小学校で一番大切なことは自己肯定感だと思います。これについて、どうやったら高められるかというのは非常に重要だとおもいます。自己肯定感が低い子どもはちょっとしたことで引きこもったり、あるいは挫折して最悪自殺してしまうようなことになってしまうと思います。その辺を教育委員会としてどのように考えているのですか。</p>
<p>高梨参事</p>	<p>自己肯定感とは、自分のことを自分が認められるということなので、人数が多いとか少ないとかではなくて、リーダーになって前に立てば高まるのかということではなく、それは周りから認められるということなので違うことで、人数の多い少ないではないと思います。ひょっとしたら人数の多い方が自分を認めるということが高める機会も多いのかなとは思いますが。自己肯定感というのは、自分で自分を高めるということなので、どんな集団にいても、大きな集団にいても自己を認めるということが自己肯定感だと思うので、それが高まったというのは自分自身の問題なので、計るデータも無いと思うんですけど。</p>

保護者 B	<p>日本の子どもは自己肯定感が他の国に比べると低いというデータも出ていますよね。</p>
高梨参事	<p>それは学者が自分の仮説を立てて検証しているだけのはなしだと思います。</p>
保護者 B	<p>競争に勝って褒めることが自己肯定感を高めることではないと思いますが、楽しいこととかを先生と共有して認めてあげる。特別支援学級でやっているような指導を普通学級でやれば変わってくると私は思っています。ただそれは効率が悪いので全ての学校では出来ないのですが、それができる小規模校も残っているのにわざわざそれを潰して、ある程度の人数を集めてステレオタイプのような人間を育てていくことが教育環境があがっているのかをもうちょっと考えてみたいと思っています。</p>
岡根教育長	<p>今我々が望んでいる規模でそれが出来ないのかというのは、それは出来ると思います。それは指導の問題です。</p>
保護者 B	<p>学校の先生はとても大変だと思います。</p>
岡根教育長	<p>私は究極の人数が1対1なのかといわれたら、私は違うと思います。やはり学校というのは同世代の子が集って、色々な経験をしたり意見交換をしたりして、先ほどの自己肯定感を含めて育てていくのが学校の意味があって、知徳体バランスの取れた子ども達を育てて行くことが大事だと思います。全体的に発達段階に応じて育てていく必要がある、それが湊小に通うようになって出来ないでしょといわれたら、それはないと先生方には伝えたいし、頑張っていたきたいと思います。</p> <p>ただ少人数であればそういった関わりの時間は増えることは事実です。ただあまりにも少なすぎるということがあって、子ども達同士の力を活用した学校を考えていくというのが我々の仕事かなと思い提案をしています。確かに先生との関わりは濃いと思います、ただ友達との関わりは少ないと思</p>

	<p>ます。ドッジボールをやるのに思い切って投げたいという時間も4年生位になったら必要だと思いますし、そういう環境作りはどうでしょうかということです。あとは条件整備の面で、あまりに距離が長いんじゃないのか、通う時間がどうかということであれば、変更しなければいけない部分もあるのかなと思います。</p> <p>今の皆さんの意見を聞いているとこのままでいいんじゃないかという意見が強いんですけども、早く統合して多い集団の中で学習したいと思っている親御さんもいるかもしれません。アンケートをみると半分半分だと受け取っているんですけど、そういう意味を含めてどうなのかなという風には感じています。</p>
保護者 D	<p>私は移住組ですが、移住してくるうえで考慮に入れた点は交通の便、学校、幼稚園等です。中学校は最初からあきらめていましたが、小学校が統合されることはびっくりしました。スクールバスも子どもが遅刻しない時間に行くとすると、家を出て行く時間が6時台になるのではないかと感じています。</p>
岡根教育長	<p>走行時間はおおよそ30分としているので、バス停までの距離との逆算になると思うので、始業時間ぎりぎり着だと8時位だと思います。バス停は国道沿いになると思うので、そこまでの距離等での逆算になると思いますが。</p>
保護者 D	<p>今でも起きないのに早く起きることに、子どもは不安になっているようでした。</p>
岡根教育長	<p>それは中学校でもあるのですが、スクールバスに乗り遅れた場合は家族の支援しかないなので、送っていくことが増える保護者の方もいらっしゃるかもしれません。</p>
保護者 D	<p>小学校が合併する理由として、小2の子ですが野球やサッカーに興味がなく、したこともないのです。子どもは人数がいなくてできないと言っていて、確かにと思いかわいそうだ</p>

	<p>などはと思いますが、他の幼稚園と一緒に鴨川シーワールドを全部でまわりましたみたいにはできないのかなと思って、他の学校に比べて6時間授業を受けられないものなのかなと思って、そのためには親が送っていったりとかもあると思うんですけど。子どもにしてみたら受け入れについては半分半分で、何年生から行くのみたいな感じです。</p>
岡根教育長	<p>前の環南小学校は体操について熱心な先生がいて、強かったですけども、球技はできない状況でした。できればサッカーや野球は小学生からやるのがよいのかということになりますが、経験させてあげたいなとは思っています。そういうことを考えるとある程度の交わりがある環境も子ども達にとってみたら必要だなとは思っています。</p>
	<p>前回質問のあった交流だけで何とかならないのかということがあったんですけど、やはり一時の交流という行事ではなくて、日常の中で掃除をしたり、学級会をしたり、休み時間がある中での活動は意味があるのかなと思います。</p>
保護者D	<p>統合は半分半分ですね。子どもにとっていいと思っていることもあるけど、親の負担はすごく増えるなと思います。</p>
岡根教育長	<p>親御さんにご迷惑かけるのはわかっていますが、また慣れるまでの時間というのもあるし、そこについての不安や不満というのはあると思うのですが、通っていく中で子ども達の笑顔だとかその中で取り組む活動は、環小のときの感想で良かったと聞いているので、やりたいと考えています。</p>
保護者D	<p>学校の教室ってそろばん教室とかで使えないものなのですか。</p>
鈴木室長	<p>英語検定とか特定の場合だったらよいのですが、荷物がそこに置いてあるため日常的には使えません。</p>
岡根教育長	<p>社会教育にだったら一応は貸せることになっています。それ以外は本来だったら貸せないのです。</p>
保護者D	<p>習い事は時間的な制約が出てくると難しいかなと思いま</p>

<p>保護者 E</p>	<p>す。</p> <p>2年と5年の母ですが、教育委員会がいつている同級生との切磋琢磨と安心が得られない不安なことと、子どもにこれからストレスが溜まってくるであろうことを天秤にかけると、そちらの教育論が勝っているから再配置に賛成とは今までの話し合いに参加していますけどなれないです。不安と安全面のことを全部考えて、ただ単に同級生との切磋琢磨が必要だから人数を増やしたいということとを比べてもそれは勝らないです。なので、私はずっと反対でいると思います。</p>
<p>岡根教育長 保護者 E</p>	<p>不安であるというのは、環境の変化に対する抵抗感ですか。</p> <p>それもあると思います。簡単に言えば距離です。時間と距離です。まあ人数が増えていいこともわかります。子ども達も楽しい面も出てくるだろうということもわかりますが、やはり距離とこの金谷という地域柄を考慮していくと、再配置に賛成したほうが良いという意見にはならないです。</p>
<p>岡根教育長</p>	<p>感情の問題とすればそうだと思います。環境の変化というのは大人でもそうですので、厳しいとは思いますが、それはある程度慣れていく中でクリアできるものかなとは思っていますが、3年間の中でこうやって通っていくのだよと経験していったり、友達も付き合いも含めて馴染ませていくということが重要かなと思っていて、何とかクリアできるものかなと我々は思っていますが、お母さんがそこまでは思えませんかと言われればそうなんですけども。それは経験則としてやっていく中で、より大きい環境の中で学ぶことに進めていければいいなということで提案させていただいています。</p> <p>子ども同士の交流については、子ども会なんかをみていますと自由にやっているなと感じます。子どもは早く慣れるのではないかと思っていますが、あとは何度も交流活動をしながら馴染ませるということと、スクールカウンセラーなどの教育相談機能を含めて、ソフトランディングをしていくとい</p>

保護者 D	<p>う取り組みはしていきたいと思います。</p> <p>週 1 回しか会わない人に心の悩みを打ち明けられるとは思わないですね。</p>
岡根教育長	<p>子ども達の様子というのは、お母さん達も見ているし、先生もみていますよね、ですので、全てがスクールカウンセラーオンリーとは思わないです。ただそういうことを常に再配置した学校で留意して取り組むということをやっていますので、信頼していただけるかどうかの話になりますが、ちゃんとやっていくということはお誓い申し上げます。</p>
保護者 B	<p>この中で環小学校もゆくゆくは統合していこうという考えでしょうか。</p>
鈴木室長	<p>環小学校については、今回の計画案にはありませんが環小学校の保護者の方から今回の計画に加えてほしいという要望がありましたので、全体でどれ位その意見があるのかということを確認するためにアンケート等も取らせていただきました。その中で希望の方が多かったので、これから先、どうするかということ地域の方と協議をしながら進めていこうと考えています。</p>
保護者 B	<p>メリットデメリットが両方あって、簡単には決められないことですので、この前も言いましたが、環小の方でそういう計画があるのでしたら、どっちがいいか考えたいので、もう少し猶予が欲しいと、その間に学校が近くにあるから移住してきて子どもが増えるかもしれないし、増えないかもしれないし、そうしたら統合やむなしとなるかもしれないし、なのでもう少し考える時間が欲しいなと思っています。</p>
保護者 C	<p>今後は子どもが減り続けていくと再配置した後も小規模校になって、もっとエリアが広がって小規模校という流れになってしまうことになるかと怖いなと思います。なので、今から小規模を売りにするというのも方針としてはありなのかなと思います。長いスパンの話になりますが、最終的には</p>



<p>岡根教育長</p>	<p>そうなっちゃうのではないかと思います。</p> <p>一人一人の成長を促すのは、大規模であろうが小規模であろうが同じだと思います。小規模校の方が成長を促す要因が強いと感じて話されていると気がしますが、一人一人の成長は学校の責務ですのでどんな規模であろうとやらなきゃいけないです。ただ先ほど言ったように少人数の学習形態の方が先生との関係は濃いですよね。ただ、友達同士の面は逆に足りない部分もある。今後の富津市の人の中で子どもの数が少なくなるのだから、小規模に視点を当ててと仰っていましたが、それは今も同じなのです。子ども達の成長はきちっとやっていきたい。当然それはどんな人数になろうがそれはやるんです。それはお誓い申し上げます。</p> <p>ただ、友達関係を含めて考えるとこれ位の人数の規模の環境をつくることをご理解いただきたい。ただお母さん方のお気持ちや状況の中での遊ぶ時間の問題を含めて様々なご意見があるということはよくわかりました。</p> <p>我々とすれば逆に賛成している方もいらっしゃるので、その方々の意見も含めて考えていかなければならないと思っています。</p>
<p>鈴木室長</p>	<p>金谷小学校のPTA役員さん達にお会いし、再配置についてのご意見、ご質問をいただく機会を得ました。その中で、最初のアンケートは再配置がどのように行われるかわからない状態で回答している人もいたという意見があり、その後に説明会をこうして何度か行ってきたうえで、もう一度、保護者の皆様の意思を確認してはどうか、という意見もいただきました。そこで、金谷地区のみ、再度アンケート調査をお願いし、皆さんのお気持ちを確認させていただければと思っています。また、学校を通じてお願いすると思いますので、よろしく申し上げます。</p>
<p>保護者 A</p>	<p>アンケートは、小学校と中学校を分けて聞いて欲しいです。</p>

鈴木室長	中学校については、概ね賛成をいただいていると思いますので、小学校のみとさせていただいております。
能城部長	6 閉会のことば